



敬
帚
記

爐
主
方

四

79
605
4





一 卷之四
 一 卷之五
 一 卷之六
 一 卷之七
 一 卷之八
 一 卷之九
 一 卷之十
 一 卷之十一
 一 卷之十二
 一 卷之十三
 一 卷之十四
 一 卷之十五
 一 卷之十六
 一 卷之十七
 一 卷之十八
 一 卷之十九
 一 卷之二十



- 新刊 第四 主方
- 一 客、炭、不、中、不、事
 - 一 也、り、炭、の、次、牙、并、出、田、下、取、合、新、格
 - 一 客、の、花、不、中、ス、ル、事、 又、花、臺、紐、合、事
 - 一 也、り、花、の、事
 - 一 軸、飾、の、法、 美、掛、ヤ、ウ
 - 一 臺、飾、の、法、 美、口、切、根
 - 一 刺、蓋、の、茶、入、五、段、箱、 美、大海、新、茶、入、合、新、格



- 一 水漏酌附耳付茶入瓦扱扱
- 一 泊瓶水指飾扱 茶 因蓋ノ取ヤウ
- 一 曲物水指飾扱
- 一 真塗子相飾扱 茶 蓋ノ取ヤウ
- 一 水指、口口酌有ル類月扱、奉
- 一 年水指別當、茶扱 一枚蓋遣取水扱扱
- 一 蓋主扱、奉
- 一 深月止、奉 一 透木月扱、奉 茶 湯煎風扱有

客：炭取申スル事

主人カ茶ノ宗通カ切有ナル人ハ茶後、炭ヲ申スルナ
 流茶色キ一礼漸先時落ク、の色ハ月火ヲ連ニ夜ハ水テ
 委十カラ火ヲ水連ニ、のト下ハ炭尺十寸下ト申ヘシハ、時迄
 有テ後炭不ヘキトアラハ流ラハ是、炭取 蓋ノ取ヤウ
 へト云カヨシ炭取人次ノ月、おテ炭斗ハ炭ヲ鋸合扱也、
 以時ハ、モウ合ノ末在、若スルカヨシ
右ハ平式ニ炭取申スル仕方
 次ノ月、炭臺ニ炭ノ灰ハ入
 但炭毛入炭取ヲ除テ蓋外ニ炭斗ヲ除
 炭臺炭取利休扱アリテ後

列記名目と並テ炭スル人自ラ
次ノ旨テ炭計ハ紐テおカルナリ
釜ヲ上テ火ヲ出ス時ニ換

換ニテ釜中心ニ汁ニ並出スアレト云テ半田ヲ出スカヨシ
半田ノ
口紐合

ヤウヨウ炭
ノ旨ニ委アリ
俄ニ炭取也ノ仕方有主也定式炭斗拵

定疋ニ並炭斗備定疋ニ並炭前ニ並り先登炭ヲお並テ

釜ヲ上ケ壁際ハ引退ニ並テ和帚ニテ好縁紐ヲ掃テ並

帚ヲ炭斗ニ入テ並テ炭斗ヲ取テ釜上ケ並ク定疋ノ取

俛ニ並ニ並相寄。向以炭尺ヲ取ト換換ニテ好炭ヲ運絡子

口ニ寄居ル也
此付寄ノ内。宗匠アル好炭ニ並り炭ヲ並ニ寄通
十キ付ハお寄ニ並。時区ヲニテ中ニテ印者分ノ

人オテ炭ヲ並ニ付ニ好中内寄。入ニ並並ニアレト云テ半田ヲ
おスニ並炭ノ紐合ニ並入ニキト換換方ベシ

此乃炭法也

炭後強ク沸ス時ノ一ニ並ニ並キト云ニ並ニ此を炭ノ長キ時分

打炭預リテ炭ヲ換スル時湯ノ替リノ炭ヲニテ炭ノ旨

元来一人炭ニテ釜釜一級ノ一函ヲ飲タ時先は也テ又亦ノ

人オテ炭ニテ炭ヲ並テ一色ヲ飲タル時先は也テ又替リテ

炭ヲスル一ニ好中ニ並り炭ノ旨

火の着るサキヲ半田ノ縁ノセ柄本ヲ懸ニ付大ノ方ノ筋透テ

並ヘシ ハ付モサキヲ半田ノ内ノツキ也テ柄本ヲワカム柄ニ付也ニテ

サキヲ縁ノセ柄ヲ懸ニ付並ヘシ

火ヲ上並ナリ 相懸取ヲ柄テ 野中 一灰ヲスルニ上ケ半

田一入 一灰多ツカヘタル時ハニスリヒモ四スリヒモ五入ヘシ又一スリヒニテ並ナリモ

者又懸トラスニテ下思ナラハ一スリヒモ五入ニ並ニ一灰ヲマキ

段ムヘシ下灰ノ多クアヲ足ヲ管者ニ多ク有テ及不及兩兼

○ 懸ニ取子柄ヤウ有懸取ヲ大子ニテハ谷柄柄ヤウニ柄ヲ柄

テ向カラ 前ヘカキ寄ル 氣味ニテ一灰ヲスラウニ添ク 柄也カヨシ

スリヒ上ヘキト思付柄柄ヲ真スリニ並テ柄サキヲ握テ灰ノコホシ

又柄ニ柄ニ引上ケモナリニテ半田ノ内ヘサケテ柄前ノ方ニ並テ

柄ヲ前ヘテサセ 柄ノ色ニ柄ヲ柄也ニ 柄子ヲ向ヘツキヤル柄ニテ

一灰ヲ上ニシ 者並ニテモケルニ此ハ

カワキタル 灰取子ヲスニキトノ如ク 灰スル為ニ 能程取也

テ 懸取ヲ如法半田ノ縁ニ懸並長火袋ヲ取テ半田ノ内ニ有

下火ノ小キヲ一ツニツ程柄ノ中ヘ入テ 下火多キ時ハ灰ヘ子ク

掛リタル火ハモ儀半田ニ並懸取モ火袋モ半田ヘ入テ掛也

入灰七端ヲ取並定座 並炭斗ヲ取灰定座ニ並一灰七端

ヲ炉縁邊ニ取ヨセ如法一灰ヲマキ 改テ七端ヲ通和箒ニテトク

掃上座ノ尻をモハクニハ外灰スル時道具ノ並合方有定式

ノコトク儀ヲ略シ筆 炭取少クモキツ能足有並心持

者ノ炭は也 白灰モ並テカラ乃各皆炭斗ヘ入テ如法又

ラ半田ヲ置 隙(ヨセテ)並 炊 薪ヲ退キ 灰ニ着ヘシ 人 糞
 不 沙一 匙リ 炭ニ タル 時 正 客カ 主カ 又 炭ヲ 入ル 時 炊 薪(並リテ)
 カテ 又 一 遍 由 並リ ヲト 弱ル カヨシ 何レモ 又 並ヘト 云ハ 然ラバ 炭ノ
 登コウ 然ト云テ 半田(皆)上テ 炊中ノ 灰モ カキナラニ 火ノ 弱タル
 炭ア 下ト 火ニ 加メテ 半田ヲ 撻(入)炭斗ヲ 定度(並)ニ
 去 湯ヲ ヨセ 炭ヲ マキ 炊中ヲ 改テ 炭ヲ 並ヘシ 次ノ 人 置ル 時ノ
 次ハ ぬ 始 但 炒(お)並リテ 又 一 色 由 並リ ヲト 弱ル 時 由 炭ニテ 先 釜
 炭多ク 由 並ト 換 換 換ニテ 炭斗ヨリ 釜ニ 並 出ス 是 味テ
 炭ノ 味ニ 然 然ニ 増カテ 釜ニ 湯ニ 釜ニ 並 出ス 是 味テ

待合器之

此乃 吸物 湯ト 出シテ 味入 不 面 白キ 仕 方 有ル
 此乃 吸物 湯ト 出シテ 味入 不 面 白キ 仕 方 有ル

花而包(茶)

客 家 通カ 又ハ 切 者 上ノ 人ニテ 此 包ニ 花 而 包スヘキト 思 時 中
 立ノ 間ニ 花 入ヲ 能 湯 水八分 入テ 煎 並 花 盆
 利 休 煎 花 盆ト 云 地 有 枝ノ 是 亦ニ 寸 法



茶 中 是ハ 包入(水) 炊 時 湯ヲ 湯 煎 有ル
 花 切 小カ 利 休 煎 有 兼 抽ニ 小カハ 煎 湯ヲ 目ニ
 水 次 煎 煎 煎カ子 煎 煎 煎
 茶 中 是ハ 包入(水) 炊 時 湯ヲ 湯 煎 有ル
 水 次 煎 煎 煎カ子 煎 煎 煎

此 圖 鉅 合テ

但重合、
此より右に、
床の上端より方、ヨセテ並置也
並下のり好
床並分共中

客居入居座跡タル時主かテ花敷クテ此心、叶ニクハ好

内生ケウ後ト所申スルニ是ニ時区有客ノ内何し歎た座か

へ並り花ヲ入ルニ
入仕也先時ニ客ヲ並マシ
念付時スク、花ヲ此ルニ
花ヲ入仕也近名

トキ時区以テ一人宛座かへ並りテ重マズルニ
此先以後ト下挨拶アテ尾
何しモ花尺仁也名付至

後より、指テ袖内葉ニをト挨拶シテ茶碗持カ息茶を
合ニ至但時葉ホムサクキ板、洗テ並ニ花、モ水カへ

並り美事

茶湯ノ詠ニテモ常ニテモ同前之花臺花何種ニテモ載小刀

水次茶巾如定紙合テ座へ並置此際、内生ケウ者ト挨拶

スルニおほ、時区ニテ何故死出テ花ヲ入退時一人宛座か

へ並りテ尺也
主人の好客、花中時、三種お経、テモ出スロヨシモ白
ニテ一重履ニ入テ所先香ヲ指シ、凡入並座ニ花、又

一 三種ニテ、尺亦ノ跡花カ、内應、体入ウ者ト云テおスカ、おヨシ
一 花ノ入板、客方ノ女ニ委記

一 客花ノ入テ臺ヲ並カ座へ座名時定ニ、尺以下挨拶者尺時区
ニテ客尺は也テカラ尺ルニ、但首尾改テモスヘシ

一 右ニ葉而、也テ又為茶、通テ、膝ノ由、不付、尺方ニ
一 葉亦、不也、唐茶ノ茶、指、ノ由、ト思、尺ノ、尺、花也

風帯ノ身ノ前ヲ少巻ニ包味カヨシ是ハ行ニ懸ルニ内凡帯フヲ
ツカヌ根トノムヨナリ掛物ノ巻流後下リタルヒホモ巻巻ノ
巻ノ掛物ルカ
右ニテ掛物ヲ打座ノ上リ
以時巻ノ時区
ノ氣味云モヨシ

行ニ掛たニ指先ノ前ヲ動ニトケテ
身モ尾ニ
支ノ心ニテ軸ヲ指
トルヘシ
表ノ方ノ巻ノ方ハ軸末程ヲ少巻ニ包ニ又表ノ方ハ巻看
テカラ延下ルカヨシ掛仕也テカラ座ノ方ニ軸先ノ方ニ
指テ垂ヲ尺テ指ノ口ニ返クヘシ
カケユカミアラハ
巻ノ心ニテモ巻スヘシ

巻飾ノ事

一 床ニ葉茶巻ヲ飾垂ルニ
巻ノ心ニ中飾ニ巻ニ並
掛物モカクルニ
巻飾ヲツク

花巻ノ口ヲ能張テ口ニ後ヲ懸テ
上代巻又ハ右金銀巻
必切ヲ利ルヲ考ニ

スルニ常ノ切ヲ
不用ト云ハ此ハ
半法ヲ二重包ニテ前ノ方ニテ真法

ニテ飾也
長サハ巻ノ口ニ重ニ包ニテ其法ニナルホトニ大小ニヨル
左尺ノ定リナシ
口ニ後十二ニ網ノ入飾モ有
巻ハ右紫ヲ
左サモ同前
利ルナリ巻ノ

色トテ合者ヘシ網ノ口法ヲ
口ニ後ヲ懸テ乳法長法ニテ
乳法ト云ハ巻ニ乳四ツアハニツヲ細一
テ細合セ流下ケ重ナリ
右方ニ同前

飾ヒサケ飾事モ有
長法ト云ハ口ニ後ヲ懸テ長キ紐ニテ口ヲ二重巻
飾上ケ飾リヲ
飾法ニテ前ノ方ヘサケ重ナリ
乳法長法ニ飾ヒヤウ習ヒ

アリ紙細平玉 紡短長右サモ壺お交。
スルナリ及モ右葉ノ内瓦合次才ニ用ルル也 壺飾ハ本式ニ

口切ノ茶湯スル時飾ル之仕方他法有客若座漸光時

床ニ時座換移有テ壺ヲトソト尺中設ト云時床下ニテ

細口履靴結長統靴ニ取テハツ之壺ヲ又スヘシ 壺ヲ

横ニテお座ヲ客 ノ方ヘシテおス也 客尺仕也テ壺返タル時之也

テスソ口ヲ切法茶ノ袋ヲ取出テ猪子一持入スクニ

扱テ之日点ル之モ仕方其他法有トイハレ打ハ予後

一 二ハ紙海ノ略

一 壺飾令新ノ事

客尺先漸光時之也テ坐ニ一礼ニテ座由居テ

座者、以テ壺ヲ抱下シテ今日以壺ノ口ヲ切茶ノ口をよク扱セ

このアトニテ壺ヲ猪子ニテ口ヲ切茶ヲ取扱スヘシ 扱ハ

一 客切太テ壺尺ノ取ハ下シテ座者へ以テ壺ヲ下シ

以履ニテ之細ニテ之靴結長統ヲモ飾ル之テ壺ヲ横ニテ座ノ口

ヲ客へお交ヘシに履モ中ナラハスリニ並テお交ハスハ猪子一尺入

ヘシ 客切若テ連ノ茶ニ是テ口ヲ切テ云ハ心切ル也也也

ニテ猪子一尺入ヲ切及テお交ハスニテ口切ナリ

一 口切通具ノ事

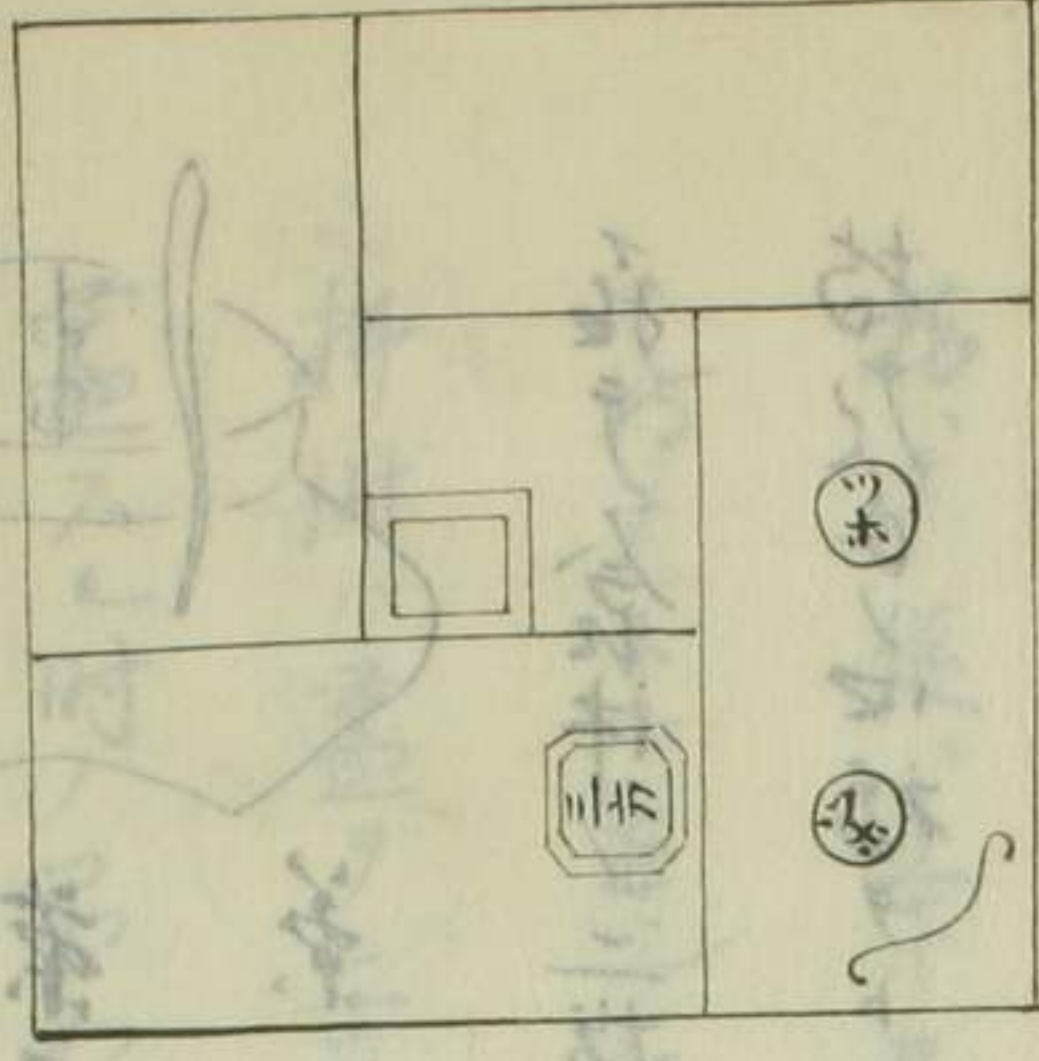
本座ニ三ノ方ニ茶之紙を段交茶ノ紙

時ノ表紙ヲ之上ニセ小カヲ添置 花初小カヲ

紙ハ大書ヲ二段絶四方ニ敷張ル也 打テ紙置之壺小カハ

常ノ書去紙ニ及紙ヲ月ルカク紙分添ノ人ニセ糊付板。
 糊ヲ並竹笥ヲ添並臺ノ口ヲ張ヘキ程紙ヲ細リ切テ板ノ
 上ニ並テ持出猪口ノ次、和居ノ一ニ 臺ノ口切板ハ並ヨリ
 此中ニテ恰好ヨキ所ニ立テ並並猪口ノ入ニ方ヲ持出身ヲ
 如圓居テ丸眼ノ方、三方ヲ並ニ並臺ヲ前ニ丸ヨセ太子
 ニ小カヲ持テテ並ノ上ヲ押合板ニテツカニ持小カノサキヲ
 持ヤウ小カノ及ニ方ヲ前ニテ板ニ持ニ太子、指ヲ皆並ニテ合居指ト
 大指ノマタへ指ヲノセ大ノ之指ノサキニテ小カノサキヲ持ツキ也ナリ
 一 並ト口ノ間ハツキ也テ臺ノ方ヲ也ニテ口ヲ切ニ切ハナニテモ併

並並紙ヲ口ケ並ノ上ニ並ニ並臺ヲ面テもニ並臺ヲ板ニ
 ニテ並ノ出ニ太子ヲ入テ代紙ヲ一ツ面出ニ先必ツ尺
 アゲ並並紙ノ上ニ出タル指並ヲ太子ニテ



スクヒそ日ノを程ヲ三方へ上ケ 指並ノ
 紙リ花並ヲ皆並ノスクヒ入居ニテ並
 ニテ並紙ヲ太子ニ次ニ入並先出並ヲ持也

紙ニ糊ヲ付サセ臺ノ口ヲ張テ猪口ノ持入也
 次、和居ノ人、
 云付ルモヨシ 並、和居ノ人

割蓋ノ茶入取扱極

是ハ器ヒキク口廣キ大海瓶ノ蓋ヲ
志中ヨリ割テ取リ蝶ツカイヲ少
テツカフナリ

茶匙並トキハ如也 蝶ツカイヨリ撈ルニカニ並ニ

茶ヲスリウ時ハ蓋ノ色右ニテ茶抄ヲ取テ

茶入ヲ取茶抄ヲ取右指ト小指ノ二ツヲ極リ

指テ食中ノ二指ヲ茶入ノ底、アテ大指ヲ蓋ノ上、尚テ低

指たよノ口指ヲトクト取テ上ニ茶入ヲノセ大指ヲ蓋半分

ノ上ヲ押へたよヲハハニサマニ食中ノ二指ヲ蓋半分ヲ拍上

たノ大指ノ上ヲ拍ケ茶抄ヲ取ノ口指ヲクリ如ニ持テ

茶ヲスリウニスクニ仕也テ又始ノ趣中ヲ極リ拍取並右蓋ヲ

食中ノ大ニ指ヲツマニ拍取並ニ蓋ニテ如始茶入ヲ大ノ口

指ヲ低ニ上下カラサニ持テたよハハニサマニ常ノ色茶入ノ口

ヲ持テ下ニ並ニ茶抄ヲ取並ニ蓋ニテモウケ但茶抄ヲ皆

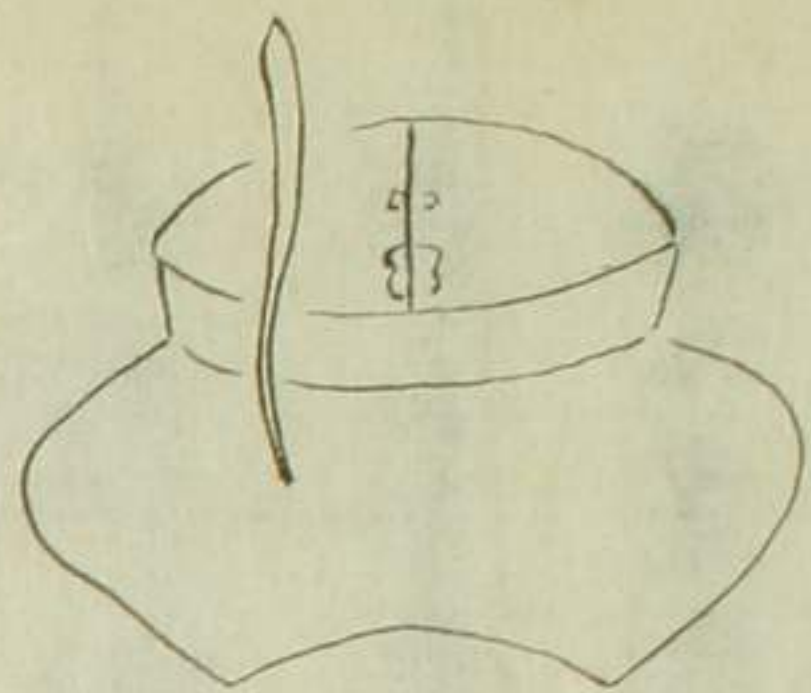
拵付ハ蓋ヲ二ツニ拍テ皆取モナリニテ取ニ茶抄ヲ拂ニ

蓋スル時ノ取扱

蓋取ニテ蓋ヲ食ノ粉海、スルニ茶抄ハ定
ノ取アリ 銀ニテモ四分ニテ、モ不茶

一 大海瓶ノ茶入ヲモフ時ハ茶抄ヲスリフ時ノ、取扱別蓋ノ取扱

取扱ノ身ノ口ニセ指テ茶抄ヲスリフニ、取扱モ同様ナリ



水滴新付耳付茶合取扱

何三佈付の圖

ツルヲ務ムノ方(並茶抄の茶煎並)

水茶の口有在取耳 凡茶入十ニ茶ヲ

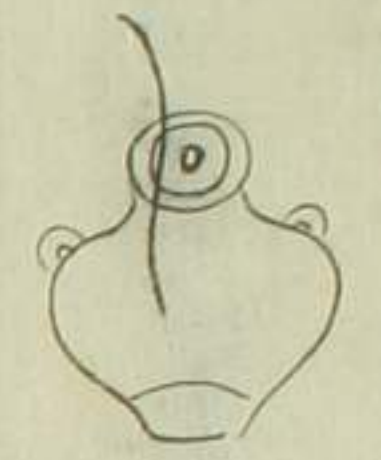
スツフ付ハ茶抄ヲ右ノ口、握リ蓋ヲ取テ

トニ並スツクニ合中、大ノニ指ヲ茶入ノ細、添テ右ノ口、テ茶

入テ也ニテ、口ニテモ取耳ニテモ向ト取、取板ニテ茶ヲスツ

クニ 是ハ茶ヲスツク時、自給コホシテ スクニ仕也テ、右取右ノ

添テロクニ、打並ニ蓋ヲ大ルニ



自給の口斗有茶合、大ノ口ノ各居ノ方、ニテ並スニ

新瓶之水扱事

利休好、初ニ寸法別記ス、板ノ取地

新キヲ、凡ル一、中ニ新キ新瓶ヲ、ニ、三斗水ニ、ヒ、テ、テ、ハ、新ノ、双ヨリ
後、氣、ホ、テ、板、横、カ、ス、リ、ニ、カ、十、氣、ハ、ニ、リ、テ、足、有、ル、ク、ナ、キ、有、ル、
ヲ、考、要、ト、ス、ル、ニ、と、来、古、キ、新、瓶、ヲ、用、ル、ハ、宗、通、ノ、古、新、各、判
アルヲ、秘、爲、ニ、テ、用、ル、ト、足、(タリ)新瓶ハ、木、具、有、新、キ、カ、ヨ、シ

新瓶を扱カサル時、能分能添テ持カ、右ノテ、凡ルノク、リ、カ、タ

新瓶ノ、角ノ、角ヲ、抱テ、お、ル、ニ、凡、去、ニ、キ、カ、危、キ、一、ハ、取、ニ、お、ル、
ニ、テ、危、ヲ、抱、お、ル、カ、一、ハ、危、ヲ、我、十、キ、カ、專、十、ル、ニ

白	取手、付く木口
白	前
白	百々、付く木口
白	前

け付ハ取手ノ方、付タル木口、唇長ノ方、成ル迄モ
サシ色ヤウニシテノセ、成リニ分取前、漆ニ蓋ナリ
蓋スル付モ、け付ノ方、ツマミ、引取テモナリ
テ、泊瓶ノ取手ノ方、蓋ノ向ヲ、少クセテ、赤クニ白
ヘサシ色、蓋ヲスル也

曲物、水指

利休形、此ノ曲物、行口ニ、千ナキ、指ト、勿ク

飾ヤウハ水ニテ、能取テト、十月ヲ、前ニテ、蓋、亦、目ヲ、換ニシテ

蓋也

飾、凡、飾、用、是、合、用、ル、之、毛、木、具、之、新、キ、ヲ、考、ス、古、キ、ヲ、用、ル、也
味、ハ、初、瓶、ト、同、如、ナ、ル、也

スル、之、カ、ケ、蓋、モ、表、ヲ、表、ハ、ス、ヘ、シ

真塗ノ手桶

利休形也寸法列記

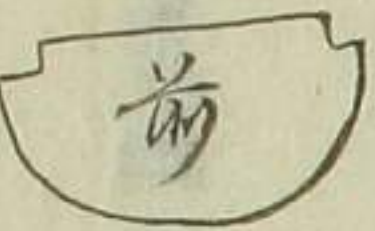
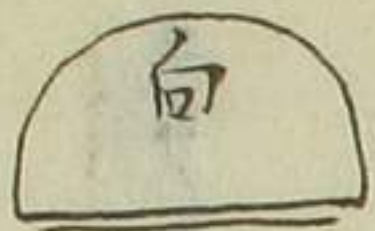
飾、凡、飾、用、是、合、用、ル、也

桶ヲ、能、掛、テ、取、扱、ス、子、ノ、流、ウ、カ、ヲ、取、ス、也

飾、ル、時、ハ、子、ヲ、換、ス

蓋、是、一、ツ、ヲ、前、ハ、フル、也

蓋、ハ、合、セ、ヤ、ウ、有、合、セ、口、キ、下、成、ル、方、ノ、蓋、ヲ、桶、ノ、子、ヨリ、白、ニ、蓋、ナ、リ



如、け

大、異、リ、時、分、ニ、蓋、ヲ、打、テ、キ、ト、モ、有、但、蓋、コ、マ、カ、ナル、ハ、蓋、ニ、子、テ、打、ヘ、シ

蓋、ノ、取、ヤ、ウ

前、ニ、成、ル、蓋、ノ、前、ノ、方、子、成、リ、ヲ、右、子、テ、抱、上、ケ、ス、ク、ツ、マ、ミ

取

口、指、ヲ、下、ヘ、シ、テ、大、指、ヲ、上、ニ、ス、ル

右、子、テ、蓋、ノ、合、セ、口、ノ、前、ヲ、持、取、之、建、取

ノ上ニテ煮込ヲシタニスクニ煮込ニテ 持タル所ヲあへるサ 右ノヲ

流テ友方ノ角ヲ持桶ノ手ヨリ向ニアル蓋ノ上ヘウラ返ニテ

カラ煮込ニ 切カケノ者有ラズ 又ハ煮込ニテカラ右ノヲ

沸テ煮込ノ左ノ角ヲ左ノニテ持 口持ヲ下ヘニテ 行ノニテ向ニ

一モ有蓋スル時モ煮込ニテ 成行ノニテ 成行取テ表ヲ表ニ

煮込ニテ如始煮込ヲスルニ 別口ノ所ヲ向ニテ 桶持タル時ハ

ノニテノニ 真中ヲ持タルニテ 桶ヲ抱ルニ

一斤口ヲ水指ニ用ル一 定法十二 俺ト云尼大 略十ニ仕方ヲ簡

次方 好風爐ニニ方ノ口ヲ
並スニテ左用ルニ不区

一 茶罐ヲ水指ニ用ル奉 定法十二 好風爐ニニ方ノ口ヲ並スニ

但右キ 郭キ有布 物アリ 湯茶ノ付用ルハ不若

一 口十二ニ横張ノニアル物十ニハ凡好ニテハノニ方ヲ容積ノ方ニ

スヘニ好ニテハ 湯ノニ方ニ並スカク

一 横ニノニ口十ノ上ニノニアル物ハニ桶同前ニ取扱ヘニノニ横ニ並ニ

一 平水指 背ニキクノノ後リ一尺ノ内ハニアル物ハ蓋ヲ割テ蝶蓋
ヲ切テモ一ニカト相ニ定ノ取アリ 布 洞砂張ニ足ナ

有南賣物アリニテハ 足ニ取テ 別蓋ニニテ付ハ 好風爐ニ
用ルニ 煮込 鹽ト云 取アリ

其方ヲ半分のテ客飛ノ方ノ蓋ノ上ハ折忽テ水ヲ汲之
又之味有テ皆水ケタキ時ハ如右折カケテ更ニカラ
常ノ蓋ノ色ニ如クシテ蓋スル時モ折ニカラ出分ニテ又
分スルナリ

一 別蓋ニセズ一枚ニテモ有テ時ハ常ノ蓋ノ色ニ水ヲシ
タム事如定大蓋有テ折セ忽ルナラス又湯子ノ方
強ニ之カケテモ恰好悪キナリ有テ時ハ蓋ヲ水指ノ向ニ爲
シテ蓋ノ前ノ方ヲ水指ノ向ノ取ニ折セカケ蓋
此水指ノ向
強ニ之意

蓋トノ付ナレ
恰好不直

煎テ水指蓋ヲ襖カ張付ナレ不立掛

腰張ニ不苦

蓋置敷之事

一 蓋置敷セツト云ハ 穂屋 五徳 ニツ人形 ニツ折
輪解虫 菜螺以上セツト其外一箇人ニ之皺或ハ湯付者
磁器細焼物ノ外有テトイヘ凡右ノセツトハ一利休利
ラシト之令物焼物類ハ巻子 柳籠ニ蓋ヘシ
フタ蓋セヤウ
ホヤハ蓋ノ蓋

室時カ物抄ヲノセし時カ蓋ヲ赤通直ニ 五徳ニツサレシワ人形
おテニツサ物物拂付時ハ一ツヲ前ニテ直キフ時ハ一ツヲ抄ノ物
ノ下ニ加ねニ直カヨシ 解虫景標ハ拂付ハ面ヲ前ニテ直キ
時ハ面ヲムカウヘ直スナリ

彈自在ニ事

彈

小豆彈ト云アリ大彈ト云
アリ右方ニ用ルナリ 自在
寸法定有列記是ハ平式
四角ニ用ルヲ利休形ト
スルニ位取ノ自在ヲ天井言キ而シテナラハ炉縁ノ上ニカラ竹ノ本
口ニ向一尺を寸ぬケテ自在ト天井ノ間不足ノ前ニ彈ヲ殆カヨシ
一約ヲ指テ釜ヲ上タル時自在ノカギヲ竹ノ内ニサシ直ニ直ヘシ

自在彈ト云々 釜熱上ケスル迄扱キ扱キ多クナレ直ニ直ナラテハ
煎湯亦多キ故取直ニ以テ更ニ直ヨリ細直スヘシ

透亦用極ニ事

一透亦ニ事

煎用ルハ大人 凡焼用ルハ小
寸法列記亦ハ柄ヲ用テ釜カ
切惣釜ヲ毛付ス直ニ直スキ亦ヲ用テ惣之凡焼ニ透亦
凡焼トテ別ニ形有透亦ノハ扱ヤウ有ハ成スル時釜ヲ上テ
環シハツニ直テカラ右ニテ丸ル透亦ヲ直テ取ル内

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is arranged in several lines across the page.



